

〈山王川水系②〉

日時：平成29年8月28日（月）15時55分～16時55分

場所：愛知県庁 6階正庁

◇議題

山王川水系②

- 流域及び河川の概要
- 計画規模と計画高水流量の検討
- 河川整備計画の方向性

◇質疑

【委員】

水質に関してはBODだけではなく、N、Pも含めて、あるいはSSも含めて少し記載は欲しい。BODの資料は最大値、最小値等の記載が無く、平均値であるかどうかの記載が欲しい。

【事務局】

改善してはっきりどういう値を使ったかというのは書いていきたい。

【委員】

基本方針案の図を見ると低水路に護岸を入れるように読める。堤防にコンクリートを入れるのはいいにしても、低水路はもうちょっとナチュラルな書きかたにしていただけると、瀬ができたりふちができたりするような川を想像できる絵を描いていただけるとありがたい。

【事務局】

ご指摘いただいたイメージにもう少し近づくように考えたい。

【委員】

断面形状をどういうふうに、整備計画と基本方針の違いはどうなるのか。

【事務局】

次回の委員会にはそれぞれの断面で基本方針と整備計画の断面を示していきたい。

【委員】

水防法が改正されて河川整備計画にかなりのことを書き込むようになっている。整備途上とか、施設性能よりも超えるときの対応について愛知県の計画はまだ書かないのか。

【事務局】

昨年から整備計画を変更していく中で、計画レベルはハードでの対応、整備途上や超過洪水に対してはソフトとハード総動員で対応していく。といったような形で記載はしている。

**【委員】**

それは非常に大事なことだが、文言だけで、そのために何をするのかというようなことに関しては、例えば水位データが住民に流れるようにとか、水位周知河川であるとか、洪水予報河川であるとか、具体的なものは書いていないということか。

**【事務局】**

今年の2月に愛知県版の水防災協議会というものを、県内を4つに分けてつくり、検討をはじめて半年程度なので、そちらのほうでも検討していく。

**【委員】**

公園事業と調整を図りながら整備を進めていくというのは、治水と絡めて公園事業をするというふうに分けられる。具体的に説明が欲しい。

山王川樋門について必要となる耐震対策というのは、基準値に対してどれぐらいの性能を持っているか教えていただきたい。

**【事務局】**

美浜町が整備する公園については、今年度から用地買収して詳細設計に入っており、具体的にどういう形で整備を進めていくかというのがまだ決まっていないので、これについては今後町と詰めて決めていきたい。

耐震性能については具体的な数値も含めて今後の流域委員会で紹介させていただく。

**【委員】**

生物の写真の背景については可能な限り白で影を撮らないように両方から光を当てて撮っていただくとうれしい。

**【事務局】**

調査会社に今回のご意見を伝え、わかりやすい写真を撮るように指導する。

**【委員】**

流域の沿革というところにこの流域の歴史が書いてありますが、戦国時代の話が出てきますが、ここで戸田が河和に河和城を築いて三河湾側を支配しというのは、これは山王川の流域の話ではございませんので、ここはなくてもいいかなと思う。これは単に美浜町の歴史の中で書かれていることだと思うので、ここはないほうがいいと思う。

**【事務局】**

修正させていただく。

**【委員】**

ここは流下能力としては非常に低く、5分の1よりも低く出ているが、そんなに実際の被害は観測されていなくて、不自然な感じがする。流域が特殊な感じがして、普通の流出計算でそこまでちゃんといくのかというのがありますし、そういう意味ではぜひ流量観測していただかないといけないのかなと思う。

**【事務局】**

山王川の特徴としては感潮域が非常に長く、下流のほうに住宅が広がり、中流部から上流部にかけては田んぼが広がっているような状況となっている。

ご指摘のとおり流下能力が非常に低くて、感潮区間がここまで来る河川で満潮の時期と5分の1程度の雨が重なっただけでも河川が満杯になり、田んぼの周辺では川か田んぼがよくわからないような状況にまでなる。田んぼが自然の遊水地のような機能を果たしていて、下流部の住宅には今のところ被害が起きていないというのが特徴の河川になっている。

**【委員】**

それを今後変えると水を下流まで持っていくことになる。被害が田んぼにあふれるだけというところだったのが、その辺を少し考えないといけないと思う。

**【事務局】**

町の運動公園の開発もあるので、当然河川管理者として現況非悪化とならないような調整地の整備を求めていく。また、奥田橋から上流については5分の1も足りないので、順次河道を拡幅していく計画である。

**【委員】**

山王川は降雨強度式のところに使う雨量データが美浜の観測所のデータ、いわゆる近接した雨量観測所のデータを使うと言っている。石川の場合は最寄りの観測所のデータでは信頼度が低いから名古屋のデータを使うと言っている。どこのデータを使うかについてももう少し整理したほうがいい。

愛知県としてはどういうデータを使って計画降雨を考えているかという考え方の整理をしたほうがいい。

それから、石川と同様にこんな内容でアンケートをしたいというところを事前に委員の方々に配付いただいて意見をいただきたい。

**【事務局】**

雨量の件については少し交通整理するのと、既定計画との連続性とかもありますので、その辺もあわせて少し整理したい。

アンケートについてはご指摘のように委員の方に事前に確認していただけるようする。

**【委員】**

先ほど富永委員の意見と関連するが、計算は流路にずっと壁を立てて、上から下まで5分の1で降った雨を流量に換算して流しているから、流量が降った雨だけ増え続ける形で伝播していく。壁立てではなくて、上で氾濫するものを氾濫させて田畑が溢れたということを示して住民に説明していく必要があるのではないか。

**【事務局】**

ご指摘の点をよく考えて整理できるところから整理し、住民の方々にわかりやすいような計画にしていきたいと思う。例えば上流が今現況どのくらいの雨が流せるかだとか、そういったことをまずは考えてみたい。

— 了 —